

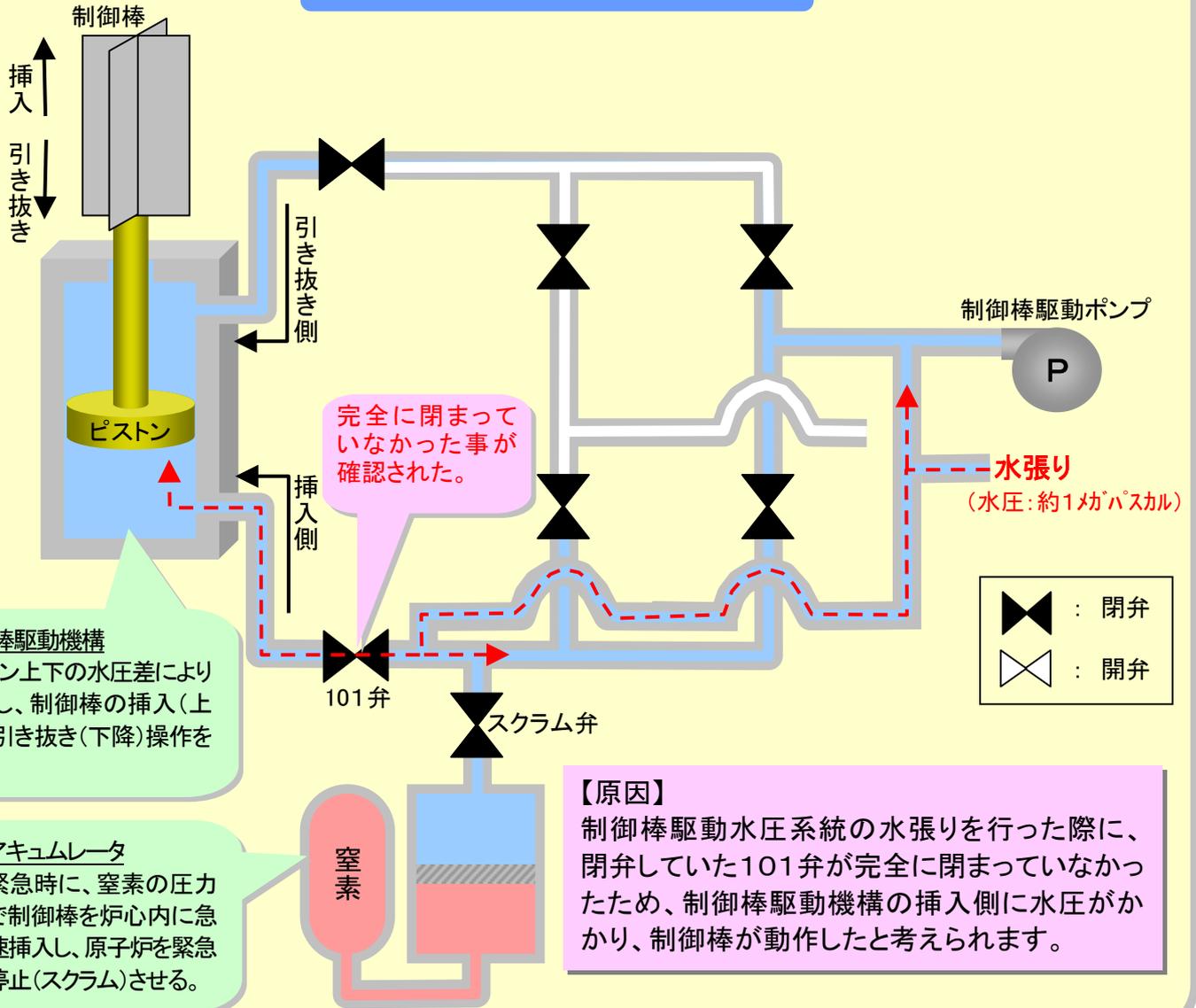
浜岡原子力発電所3号機 定期点検中の制御棒の動作について

平成 20 年 2 月 22 日

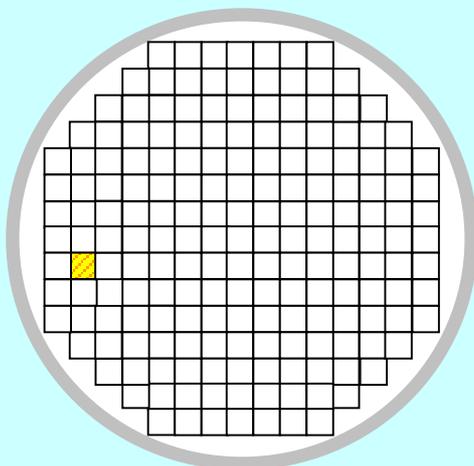
発生号機	3号機（定期点検中） ：沸騰水型、定格電気出力110万キロワット
発生年月日	平成20年2月22日
状況	<p>3号機は定期点検中であり、原子炉の中の燃料はすべて取り出され、制御棒はすべて引き抜かれた状態にありました。また、制御棒が動作しないよう制御棒を動作させる際に水を供給する配管の弁を全て閉める措置を講じていました。</p> <p>本日(2月22日)、制御棒を動作させる際に水を供給する配管の水張り作業を実施していたところ、午後1時22分、制御棒が動作したことを示す警報が点灯しました。ただちに中央制御室にある制御棒の状態を示す装置を確認したところ、全制御棒(185本)のうち、1本が挿入側に動き、午後1時26分に全挿入位置となったことを確認しました。</p> <p>原子炉の中の燃料はすべて取り出されており、安全上の問題はありません。</p> <p>ただちに、水張り作業を中止するとともに、現場を確認したところ、当該制御棒を挿入する際に水を供給する配管の弁(以下、「当該弁」という。)が完全に閉まっていなかったことを確認しました。</p> <p>また、他の制御棒の同様な弁については、すべて完全に閉まっていることを確認しました。</p>
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
原因	当該弁が完全に閉まっていなかったことから、制御棒駆動水圧系統の水張りに使用した脱塩水系統の圧力(系統圧力約1メガパスカル)が挿入側にかかり、動作したものと考えられます。
お知らせ基準	「表2-20 その他の事象であって、公表が望ましいと判断したものの。」に該当します。

以上

制御棒駆動水圧系統の概要



制御棒配置図



□ 全引抜の制御棒

■ 動作した制御棒

全制御棒本数: 185本